

H2Lとドコモ、「BodySharing技術」と5Gを活用した新サービスの創出に向け連携

～ドコモのパートナー企業・団体を対象に

アイデアソン・ハッカソンの開催とH2L製品の無償貸し出しを実施～

H2L株式会社（以下、H2L）と株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、H2Lが提供する「BodySharing技術」を活用し、第5世代移動通信方式（以下、5G）時代における新たなサービスや利用シーンの協創に向け、連携して取り組むことに本日2019年1月9日（水）に合意いたしました。

「BodySharing技術」とは、筋変位センサーを活用し、手や腕などの身体情報をコンピューターと相互伝達することにより、人やロボット、VR・ARのキャラクターへ体の動きを伝えることができ、独自の触感提示技術により、他人の体験やVR・AR空間の体験を体に伝えることができる技術です。低遅延が特長の5Gと組み合わせることにより、遠隔地にいる人の体験をリアルタイムに体験することができるなどの活用が期待されます。

ドコモは5Gにおいて、幅広いパートナーと共に新たな利用シーン創出に向けた取り組みを行う「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」を2018年2月から開始し、さまざまな分野の会員企業・団体（2,000超の団体※1 以下、パートナー）に、5Gの技術や仕様に関する情報や、意見交換を行うワークショップの場を提供しています。

今回の連携により、5GおよびH2Lが提供する「BodySharing技術」をパートナーに提供することで、パートナーの持つアイデア・サービス・技術とのマッチングを図り、新たなサービスの創出をめざします。

本連携の一環として、H2Lと共同でパートナーを対象としたアイデアソン・ハッカソン※2を開催します。さらに、H2Lが開発する、光学式筋変位センサー内蔵コントローラーにより手の動きでVR空間を操作することができるVRデバイス「FirstVR®」を、パートナーへ無償で貸し出すプログラムを開始します。

また、ドコモは2019年1月9日（水）に、沖縄県那覇市に常設5G技術検証環境「ドコモ5Gオープンラボ™ OKINAWA」を開設しました。本施設では、両社が沖縄振興推進に向け協創に取り組んでいる「FirstVR」対応コンテンツを展示します。

H2Lとドコモは、本連携による取り組みを通じ、離れた観光地のアクティビティを映像だけでなく体へのフィードバックを伴って体感できるVRコンテンツの提供など、多様な分野におけるサービスや利用シーンを協創することで、地域の産業振興や各種社会課題の解決に貢献することをめざします。

※1 2018年12月31日（月）現在。

※2 アイデアソンとは、ある特定のテーマについて多様性のあるメンバーが集まり、対話を通じた新たなアイデア創出を短期間で行うイベントのことです。ハッカソンとは、エンジニアなどがチームを作り、与えられたテーマに対しそれぞれの技術やアイデアを持ち寄り、一定期間でサービスやアプリケーションなどを開発し、成果を競う開発イベントのことです。

* 「FirstVR」は、H2L株式会社の登録商標です。

* 「ドコモ5Gオープンラボ」は、株式会社NTTドコモの商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

H2L株式会社 広報部 堀江・小森 TEL:03-6426-0480	株式会社NTTドコモ 法人ビジネス戦略部 サービス企画担当 TEL:03-5156-2660
--	--

本連携の概要

1. 連携の目的

ドコモが2020年春の商用サービス開始をめざす5Gと、人と人、人と機械の経験の共有を実現するH2Lの「BodySharing技術」を組み合わせ、新たなサービスや利用シーンを創出することで、産業振興や社会課題の解決をめざします。

2. 連携事項

- (1) 5Gと「BodySharing技術」を活用した新たなサービス、利用シーンの協創検討
- (2) ドコモ5Gオープンパートナープログラム会員向け施策の実施
 - ① 「5G×BodySharingアイデアソン・ハッカソン(仮称)」の開催
 - ② 「FirstVR」貸し出しプログラムの開始
- (3) ドコモ5GオープンラボにおけるH2L製品と対応コンテンツの展示

3. 各社の役割

H2L	<ul style="list-style-type: none">・ 5Gと「BodySharing技術」を活用した新サービスの検討・ ドコモ5Gオープンパートナープログラム会員向けに実施する施策における技術的サポート、ノウハウの提供・ 「ドコモ5Gオープンラボ OKINAWA」に展示する沖縄県オリジナルコンテンツの制作
ドコモ	<ul style="list-style-type: none">・ ドコモ5Gオープンパートナープログラムのパートナーアセットを活用し、5Gと「BodySharing技術」を要素技術とした協創サービスの創出を図る取り組みの実施(アイデアソン・ハッカソンの開催、「FirstVR」の貸し出しプログラム実施など)・ 「ドコモ5Gオープンラボ」において、H2L製品と対応コンテンツを展示

H2L製品とコンテンツの概要

1. VRデバイス「FirstVR」

「FirstVR」は、スマートフォンと組み合わせてVR/ARアプリケーションを手で操作することができる製品です。光学式筋変位センサー(Optical Active Sensing)を内蔵し、前腕に装着するだけで手指の動きを読み取ることができるコントローラ(写真左)と、スマートフォンをマウントするゴーグル(写真右)がセットとなった製品です。



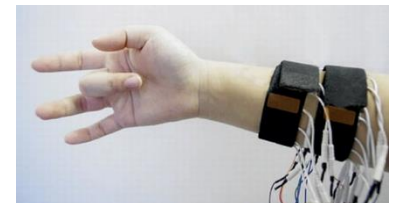
2. 触感型インターフェース「UnlimitedHand」

「UnlimitedHand」は、VR/AR空間をコントロールする入力機能だけでなく電気刺激によって手指を操作する技術に応用し、仮想空間からのフィードバックを自らの手で感じる事ができる出力機能が備わった製品です。例えば、仮想空間で飛んできた鳥が指に乗った瞬間に、その指を動かすことで、鳥が指に乗った感覚を仮想的に感じることができるようになります。



3. 手指を制御する14ch機能的電気刺激キット「PossessedHand」

「PossessedHand」は、使用者の腕に巻いた2本のベルトから前腕の筋肉に電気刺激を与え、手指の動きを制御することができる装置です。前腕の筋肉は手指の腱につながっており、その筋肉を収縮させることにより、手指を動作させることができます。



4. 沖縄県の観光振興に向けたVR体験コンテンツ

沖縄県国頭郡東村で撮影されたマングローブカヤックやスタンドアップパドルボードの映像を、「FirstVR」で楽しむことのできるコンテンツです。使用者が実際にパドルを漕ぐ動作をすることにより、VR空間のカヤックやパドルボードが水の上を進み、実際にその場にいるかのような体験が可能です。



【コンテンツ概要】
手元のパドルを漕ぐ動作に連動し、VR空間のカヤックがマングローブを進む。

参考

各社の概要

H2L	
会社名	H2L株式会社
代表者	代表者 岩崎 健一郎
所在地	東京都江東区青海2丁目7-4 The SOHO 1304
資本金	1億535万円(2017年12月31日時点)
設立年月日	2012年7月2日
従業員	9名(2018年10月31日時点)
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none">・電気刺激による手指動作技術を活用した応用ソリューションの企画と開発・医療サービス、リハビリ支援装置の研究開発・触感提示技術の研究開発・その他の事業

ドコモ	
会社名	株式会社NTTドコモ
代表者	代表取締役社長 吉澤 和弘
所在地	東京都千代田区永田町2-11-1山王パークタワー
資本金	9,496億7,950万円(2017年3月31日時点)
営業開始日	1992年7月1日
従業員	単独7,767名、連結27,464名(2018年3月31日現在)
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none">・通信事業・スマートライフ事業・その他の事業